

小5 英検準1級に合格 「将来の夢はアナウンサー」 幸喜さん (那覇) 快挙に笑顔



英検準1級に合格した幸喜朝生さん(11月20日、那覇市・ファミリーイングリッシュスクールインターナショナル)



那覇市の小学5年生、幸喜朝生(あおい)さん(11)が昨年12月、実用英語技能検定試験(英検)で、大学中級レベルに相当する準1級に合格した。幸喜さんはほかに「TOEFL Junior」で900点満点中880点の高得点を出し、最高位のゴールドも取得。二つの快挙を笑顔で喜んだ。(社会部・西口優子)

幸喜さんは5歳のころ、大好きな祖母に「早いうちから世界に目を向けてほしい」と背中を押され、幼児から小学生までが英語を学ぶ市内の「ファミリーイングリッシュスクールインターナショナル」へ入学した。祖母は「大好きな朝生のためなら」と、自宅のある金武町から送迎することもあったという。祖母の期待に応えるかのように、幸喜さんは入学後わずか3カ月で中学初級レベルの5級、小学1年生になるまでに中学卒業レベルの3級を取得した。現在は国語や算数などの5教科全てを英語で受講している。準1級は5度目の挑戦だった。環境や医療、政治など準1級レベルの専門的な単語は関連する事柄も含めてパソコンで調べた。意見を問われる作文試験は何度も過去問を解いて練習を重ねた。日頃から気になった事は分かるまで調べる知的な好奇心旺盛な性格で、読書やニュースを見るのも大好きだという。英検対策だけに偏らない日頃の積み重ねと、「英語の勉強を辛いと思ったことはない」と楽しくのめり込んだことが準1級合格につながった。TOEFLや英語朗読コンテストにも挑戦。昨年6月、那覇市で開催された「児童英語スピーチコンテスト」で成績上位5人に選ばれ、台湾でのサマーキャンプに招待された。だが、祖母が亡くなり参加がかなわなかった。準1級合格に、「まさか合格できるとは」と驚きつつ「先生や家族に褒められるのがうれしくて頑張れた。合格は亡くなった祖母からのクリスマスプレゼント」と喜んだ。合格当時は10歳。同校の大城さとみマネージャーは「29年間勤めてきて、海外生活経験なしに10歳が準1級に合格するのは初めて。よく頑張ったね」とたたえた。幸喜さんの将来の夢は「世界で活躍するアナウンサー」になること。夢の実現に向け「まずは1級取得を目指して頑張る」と目を輝かせていた。